



リサイクルを 楽しむ

秋のリサイクルまつり

9月24日～10月23日は秋のごみ減量・資源化促進月間です。その皮切りに、不用品をリサイクルして楽しむイベントを開催します。

問い合わせ 清掃事業課（西24北4、☎37・2311）

フリーマーケットやごみ分別クイズなど、ごみの減量やリサイクルを楽しむイベントを開催します。参加は無料です。当日会場へ直接お越しください。

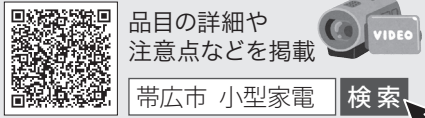
日時 9月24日(日)、9時～12時
(雨天中止)
場所 北愛国交流広場(愛国町10)



使用済み小型家電を回収します

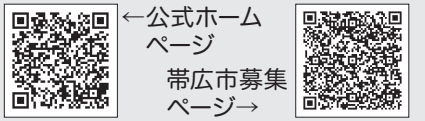
家庭で不用になったデジカメやビデオレコーダーなどの小型家電(帯広市が指定した16品目)と、「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」に協力するため、パソコン・携帯電話の回収を行います。(ブラウン管のモニターは回収できません)

使用済み小型家電回収



みんなのメダルプロジェクト

2020年実施、東京オリンピック・パラリンピックのメダルをリサイクル金属で作ろう!



フリーマーケットでリサイクル

▼古布・古着回収
家庭で不用になったシャツなど

各種ブースで楽しめる

▼青空フリーマーケット
不用になった衣類・日用品など

フリーマーケットです。出店希望者は、当日8時から会場で受け付けます(出店無料)。なお、薬品類・食料品の販売はできません。

の古布・衣料品を回収します。汚れのひどいものやクッション、布団などは回収できません。

▼ダンボールコンポスト基材配布
少ない費用で生ごみから堆肥が作れる、「ダンボールコンポスト」の基材を無料配布します。

▼ごみ分別クイズ
イメージキャラクター「リサイクル忍者わけすけ」とごみの分別クイズを行います。参加賞もあるので、ぜひ参加してください。



ごみ分別にチャレンジ

▼野菜市
生産者が新鮮な地場農産物を販売します。

▼食べ物販売コーナー
ポップコーンや綿あめ、ジュースなどを販売します。

▼ごみ収集車の展示
乗車体験や記念撮影ができます。

この他、新聞紙でエコバッグ作りを体験できるコーナーや、紙飛行機教室など、親子で楽しめるイベントを多数行います。



ごみ収集車に乗ってみよう

秋はヒグマ出没 注意!

八千代・拓成・岩内方面に多く生息

問い合わせ 農村振興課(市庁舎7階、☎65・4173)

秋は、キノコ採りなどで野山に立ち入る人も多く、ヒグマとの接触が多くなるシーズンです。野山はヒグマの生息域であるという認識を持ち、新聞やテレビ、市ホームページ、注意看板などでヒグマの情報を確認しましょう。

ヒグマと出会わないために

ヒグマは本来、極力人間を避けて行動する動物です。早朝や夕方に比較的活発に歩き回ります。また、聴力に優れ音に敏感で、嗅覚も非常に発達しています。

ポイント

- ・日の出、日没時などの薄暗い時間帯は野山に立ち入らない
- ・単独ではなく複数人で行動する
- ・鈴やラジオなど音の出るものの携行、大声で話すなど、人間の存在をヒグマに知らせる
- ・エゾシカなどの死骸を見つけたら速やかにその場を離れる
- ・ヒグマのふんや足跡、臭いなど異変を感じたら直ちに引き返す

ヒグマを引き寄せないために

人間が出す生ごみはヒグマにとってごちそうです。一度、その味を覚えたヒグマは餌を求めて人里に現れるようになり、人間との接触事故を引き起こす原因になります。

ポイント

- ・においの強い食べ物は持参しない
- ・弁当や飲み物などの食べ残しや容器は必ず持ち帰る
- ※土中に埋めてもいけません

それでも出会ってしまったら

ヒグマと遭遇したときに、確実に身を守る方法はありません。もし出会ってしまったら次のような行動が有効といわれています。

ポイント

- ・冷静な状況判断のために、まずは「落ち着く」
- ・大声を上げたり、走って逃げたり、石をぶついたりしてヒグマを刺激しない
- ・至近距離の場合、静かに両腕を上げ、姿を大きく見せヒグマの目を見ながらゆっくりと後退する

特に注意が必要な地域

八千代・拓成・岩内方面では、ヒグマの生息が確認されています。おとし以降、八千代町や拓成町では目撃情報も多くなっていて、岩内町の林道ではヒグマのふんも多数確認されています。戸蔭別川での釣りや、防風林や森林内でのキノコ採りをする際は、遭遇する可能性があることを十分に認識してください。